

製品名: Fli-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11020**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	FLI1
別名	FLI1; Friend leukemia integration 1 transcription factor; Proto-oncogene Fli-1; Transcription factor ERGB
遺伝子 ID	2313.0
SwissProt ID	Q01543
免疫原	抗血清はヒト FLI1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

背景

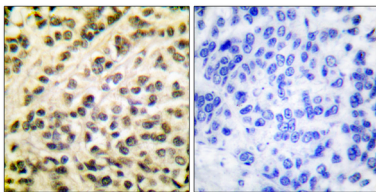
この遺伝子は、ETS DNA 結合ドメインを含む転写因子をコードする。この遺伝子は、22 番染色体上のユーイング肉腫遺伝子と

t(11;22)(q24;q12)転座を起こす可能性があり、その結果、ユーイング肉腫のほとんどの症例で融合遺伝子が生じる。また、急性リンパ芽球性白血病関連において、この遺伝子を含む t(4;11)(q21;q23)転座も同定されている。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2012年8月]、疾患：FLI1に関連する染色体異常はユーイング肉腫の原因である [MIM:133450]。EWS との t(11;22)(q24;q12)転座。機能：配列特異的転写活性化因子。DNA 配列 5'-C[CA]GGAAGT-3'を認識します。、その他:11番染色体の断片に位置し、セントロメア側には急性リンパ性白血病関連の t(4;11)(q21;q23)転座切断点、テロメア側にはユーイングおよび神経上皮腫関連の t(11;22)(q24;q12)切断点が隣接しています。、類似性:ETSファミリーに属します。、類似性:1つの ETS DNA 結合ドメインを含みます。、類似性:1つの PNT (尖った) ドメインを含みます。、サブユニット:ETV6/TEL1 とホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成できます。、

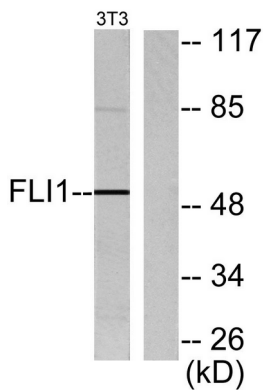
研究分野

細胞生物学

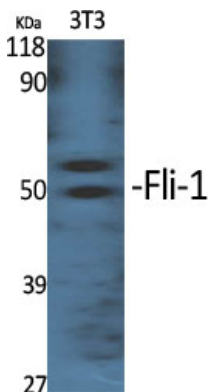
画像データ



FLI1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FLI1 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Fli-1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。

Fli-1 ポリクローナル抗体を使用した 3T3 細胞のウエスタン ブロット分析。

